

# 建築研究所 ニュース



平成22年12月3日

「地震後すぐに使用できる建築物の実現をめざして」研究報告会を開催について  
(専門紙記者懇談会資料)

平成22年12月3日に国土交通省で開催しました、「建築研究所 第5回専門紙記者懇談会」の配付資料をご案内します。

## (内容の問い合わせ先)

独立行政法人 建築研究所  
所属 総務部総務課  
氏名 大高 茂則  
電話 029-879-0605(直通)  
E-mail ootaka@kenken.go.jp

## 「地震後すぐに使用できる建築物の実現をめざして」研究報告会の開催について

近年、国内では比較的規模の大きな地震が発生し、地震後に各用途の建築物がそれぞれの機能を維持するための十分な耐震性能を有しているか否か問われる機会が増えています。そのような背景を踏まえ、今後の構造設計においては、従来の構造躯体の耐震余裕度の評価だけでなく、地震発生後の機能維持や早期回復に関係する非構造部材や設備機器を含めた総合的な評価が必要になると考え、建築研究所では平成 19 年より 4 力年の間、「建築構造物の災害後の機能維持・早期回復」に関する研究課題を実施しました。

このたび、ユーザニーズに対応できる新たな耐震性能評価システムの体系やそれに資するデータベースの構築、さらには本評価システムを利用した評価事例や地震後の建築物のシナリオに基づく耐震性能の表示手段について成果を取り纏めましたので、その内容を紹介するとともに、今後の課題や方向性について広く御意見を頂くための成果報告会を開催します。

1. 名称：研究成果報告会「地震後すぐに使用できる建築物の実現をめざして」  
-建築物の機能性に対する多様なユーザニーズに応える新たな耐震性能評価システムの開発-
2. 主催：独立行政法人 建築研究所
3. 開催日時：平成 23 年 1 月 28 日（金）13 時 00 分～18 時 00 分（予定）
4. 開催場所：建築会館ホール（東京都港区芝 5 丁目 26 番 20 号）
5. 内容：別紙 1 参照
6. 定員：180 人（先着順）
7. 参加費：無料（ただし事前登録が必要です）

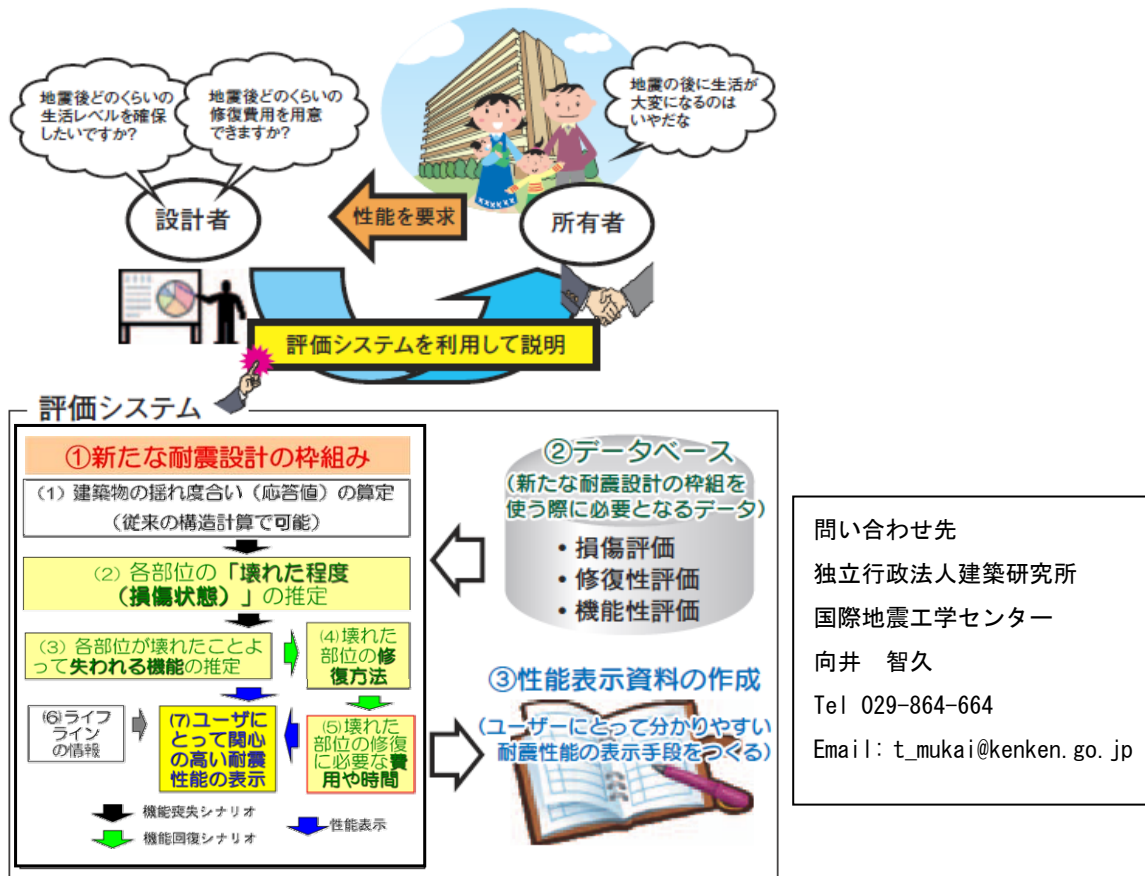


図 1 本評価システムを用いたユーザと設計者のやりとりのイメージ

## 研究成果報告会 『地震後すぐに使用できる建築物の実現をめざして』

-建築物の機能性に対する多様なニーズに応える新たな耐震性能評価システムの開発-

近年、国内では比較的規模の大きな地震が発生し、地震後に各用途の建築物がそれぞれの機能を維持するための十分な耐震性能を有しているか否か問われる機会が増えています。そのような背景を踏まえ、今後の構造設計においては、従来の構造躯体の耐震余裕度の評価だけでなく、地震発生後の機能維持や早期回復に関係する非構造部材や設備機器を含めた総合的な評価が必要になると考え、建築研究所では平成 19 年より 4 年間の間、「建築構造物の災害後の機能維持・早期回復」に関する研究課題を実施してまいりました。

このたび、ユーザニーズに対応できる新たな耐震性能評価システムの体系やそれに資するデータベースの構築、さらには本評価システムを利用した評価事例や地震後の建築物のシナリオに基づく耐震性能の表示手段について成果を取り纏めましたので、その内容をご紹介しますとともに、今後の課題や方向性について広く御意見を頂くための成果報告会を開催することといたしました。本報告会が、「地震後すぐに使用できる建築物の実現」に向けた第一歩となることを期待しております。なお、本報告会は、(社)日本建築士会連合会の建築士会継続能力開発(CPD)プログラムにも(5単位)認定されております。また、JSCA 建築構造士登録更新のための評価点を申請中です。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

13:00~13:05	主催者挨拶	建築研究所 伊藤弘
13:05~13:20	趣旨説明(背景及び新たな評価システムの概要)	建築研究所 福山洋
13:20~14:20 (13:20-13:50) (13:50-14:20)	新たな評価システムに必要なデータベースの構築 ① 構築した各データベースの特性と使用方法 ② 損傷評価データの収集事例	建築研究所 向井智久 建築研究所 加藤博人
14:20~15:40 (14:20-14:40) (14:40-15:10) (15:10-15:40)	新たな評価システムを利用した機能回復性評価手法と評価事例 ① 機能回復性評価手法の概要 ② 病院の評価事例 ③ 共同住宅の評価事例	建築研究所 森田高市 三菱地所設計 溜正俊 大成建設 服部敦志
15:40~15:50	休 憩	
15:50~16:50 (15:50-16:20) (16:20-16:50)	新たな評価システムにおける耐震性能の表示手段 ① 病院・事務所を対象とした表示手段 ② 共同住宅を対象とした表示手段	建築研究所 斉藤大樹 日本女子大学 石川孝重
16:50~17:50	総合討議およびまとめ	東京大学 塩原等
17:50~18:00	閉会の挨拶	建築研究所 飯場正紀

司会：福山洋，副司会：森田高市

(内容および時間は、都合により変更する場合がありますのであらかじめご了承ください。)

日時：平成 23 年 **1 月 28** 日(金) 13:00 - 18:00

会場：**建築会館ホール** (東京都港区芝 5 丁目 26 番 20 号)

定員：180 名 (先着順)

参加費：無料 (事前申し込みをお願いします)

申し込み方法：FAX または Eメールで氏名(ふりがな)・所属先名・連絡先を明記のうえ、下記宛にお申し込み下さい。定員になり次第、締め切りますのでお早めにお申し込みください。

申込先：独立行政法人建築研究所 研究成果報告会事務局

E-mail: brisympo@kenken.go.jp FAX: 029-864-6773

主催：(独) 建築研究所

